

学校だより — 令和5年夏休み号 —



やなせ

所沢市立柳瀬中学校 校長 猪口 茂

学校教育目標

3つのKを達成しよう

- 活躍しよう
- 基礎・基本をしっかり身に付けよう
- 健康な心と体を育てよう

## 1学期を終えるにあたって

4月8日の入学式・始業式から70日。今日で1学期が終了します。新型コロナウイルスの影響はまだ残りますが、おかげさまで学校全体としては順調に教育活動を進めることができました。そして、この4ヶ月の間に子供達の活躍や成長を、様々な場面で見ることができました。その一端を最近の出来事からご紹介します。

柳瀬中学校はとても自然豊かな学校です。庁務手さんや教頭先生、古木先生をはじめサッカー部の部員達も粘り強く除草作業を続けてくれていますが、それでもこの時期はグングン伸びる草にあつという間に呑み込まれてしまいそうです。

私も刈り払い機をかけたり、植え込みの草をむしったりしていますが、オオバコ、カタバミ、オヒシバといった草は、根をしっかりと張っているので抜くのも大変です。コツコツ頑張っても、1日にいくらか進みません。下校の時、作業している私に気づいた子供達の「さようなら」のあいさつとともに、「きれいにしてくれて、ありがとうございます」と声をかけてくれる子もいて、そうした一言にいつも癒されています。

7月11日～13日まで、3年生が京都・奈良に修学旅行に行ってきました。

奈良の大仏様の大きさや清水の舞台の高さに驚いたり、ホテル9階のラウンジから京都の街並みに見入ったり、おしゃべりやカードゲームを楽しんだり、3年生達は充実した時間を過ごしてきました。帰りの新幹線の中では、「もっとみんなで泊まりたい」という声も上がっていました。

この旅行中印象的だったのは、お世話になっている宿の人達やタクシーの運転手さんへの、「おはようございます」「ありがとうございます」といったあいさつやお礼の声を、3年生達が当たり前のように発していたことでした。宿の方やタクシーの運転手さんからも「気持ちのいいあいさつのできる生徒さんですね」という言葉をいただきました。

また、早目に夕食会場に着いた子達が、クラスメートのためにと気を利かせてコップに水汲んで運んでおいたり、ごちそうさまの後、テーブルからはみ出た椅子を見つけた子が、そっと入れておいたりする場面なども見られました。

修学旅行中の3年生の、そうした何気ない一言や気配りは、周囲の人をさわやかな気持ちにしてくれました。

明日から40日間の夏休みが始まります。いつもより少し心の余裕も生まれてくることと思います。家族や地域の一員であることを自覚し、家庭や地域での生活も充実させてください。夏休み中、部活動など以外は基本的に自分で自由に使える時間です。目標をもって、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。夏休み中、子供達は家庭・地域で生活することが多くなります。そうした子供達を、あたたかく見守っていただけると幸いです。

8月30日(水)に、様々な体験をして元気な笑顔で登校してくるみんなに会えるのを楽しみにしています。